

令和5年度 第5回理事会議事録

- 1 日 時 令和5年12月12日（火）午後3時～5時30分
- 2 方 法 会場（ビジョンセンター横浜 3階309）
- 3 出席者 理事14名、監事2名（理事2名、監事1名はオンライン参加）、
竹内名誉会長、古谷顧問（オンライン参加）
- 4 進 行 議長（会長）
- 5 協議事項
 - (1) 協会創立60周年記念事業について
記念式典の実施結果、出席者、収支状況等について事務局より報告を行った。
記念誌については、写真の選定、全体のレイアウトなどについて協議を行い、1月中に発行できるように年内に最終的な原稿を固めていくこととなった。
 - (2) 各種表彰候補者の推薦について
令和6年度神奈川県民功労者表彰候補者は、協議の結果、該当なしとなった。
 - (3) 各種委員の推薦について
横浜市こころの健康相談センター嘱託医師（判定業務）は、協議の結果、引き続き馬場理事、佐伯理事、藤渡理事、遠藤桂子（横浜舞岡病院副院長）を推薦することとなった。
相模原市精神医療審査会委員は、協議の結果、引き続き澤山監事、稲田健（北里大学）、福島端（あさひの丘病院院長）、関口剛（丹沢病院院長）を推薦することとなった。
 - (6) その他
武田病院への神奈川県弁護士会からの警告文に対する声明文案と協会ホームページに掲載するお知らせ文案について協議を行い、そのとおり掲載することとなった。
各種会議等への参加について、「神奈川県医療観察制度運営連絡協議会」は、横浜日野病院の医療相談室係長が出席することとなった。また「横浜市病院協会新年祝賀会」、「川崎市医師会新春賀詞交歓会」、「県病院協会50周年記念式典・懇談会」は山口会長が出席で回答し、「県社協新年賀詞交歓会」は欠席で回答することとなった。
精神医療審査会について、県、横浜市、川崎市より、精神保健福祉法の改正による案件の増に伴い合議体を増やすため協会への委員の推薦人数を増やして依頼したい旨の説明があり、協議の結果、依頼文書を収受した。
「精神科病院への実態把握調査」実施について、県より説明があり、協議の結果、次回の理事会で改めて協議することとなった。
「身体的拘束適正化モデルチェックシート」に関連して、畑理事より提案があり、協議の結果、県精神科病院協会として検討ことではなく、日精協に問題提起などしていくこととなった。
- 6 報告事項
 - (1) 日精協報告について
資料のとおり、令和5年11月2日に開催された11月理事会について、坂井理事より報告があった。
 - (2) 年末年始等の救急輪番体制について
資料のとおり、年末年始の救急輪番の調整状況について報告があった。
 - (3) 会員病院の届出事項変更について
資料のとおり、厚木佐藤病院、あさひの丘病院より事務長の変更届、けやきの森病院より開設者（理事長）の変更届、保土ヶ谷病院より院長の変更届について報告がされた。

- (4) 各部長会について
資料のとおり、事務長会施設見学会、事務長会医事研究会、看護部長会第2回研修会、薬剤部長会第2回研修会の開催結果についてそれぞれ報告された。
- (5) 各研修事業について
資料のとおり、精神科看護職員研修会、精神科看護技術研修会の開催予定についてそれぞれ報告された。
- (6) 第4回理事会、10月臨時理事会議事録について
議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。
- (7) その他
県医師会会長、県病院協会会長の顧問委嘱の状況について事務局より報告があった。

・次回理事会は、1月16日(火)に開催することとなった。

以上で、全ての審議を終了し議長は午後5時30分理事会の閉会を告げた。